

平成24年度  
実施事業

事務事業名	学校図書システム広域化事業
-------	---------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	9	#N/A
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	登別市・室蘭市の学校図書システムがいずれも更新時期を迎えたことから、両市の共通課題であった当該システムの更新を「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として事業化し、新システムとして共同利用することにより、更新費用等の縮減とセキュリティの強化及び運用の効率化・安定化を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専用サーバを導入し、登別市・室蘭市が学校図書システムを共同開発。</li> <li>登別市の旧システム（サーバ・端末）は廃止し、新システムのサーバ等の管理運用は室蘭市が実施。</li> <li>新システムは、登別市・室蘭市が共同利用。 (当該システムは、学校図書館の蔵書管理用システムとして開発しているため、利用者は両市の小中学校の児童生徒となる。市立図書館のシステムとは非連携。)</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	当該システムを共同利用することにより、運用費用の縮減、セキュリティの強化、運用の効率化・安定化を図る。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1	538	769	767	764
事業費 合計			1	538	769	767	764

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① システムの稼働実績	日	目標値	365	365	365	365	365
			実績値	365	365			
	② システムダウンの回数	回	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
サーバの老朽化の進行により、高確率でハードウェアに障害が発生する可能性があり、システムダウンによる機能停止が懸念されていた。	<p>「学校図書システムの早期の更新」という共通課題を抱える室蘭市と新システムを共同開発し、共同で利用することにより、更新経費の縮減が図られるとともに管理運用面での効率化及びセキュリティの強化が図られた。</p> <p>また、バーコードリーダーの導入によりシステム操作が簡略化されたほか、図書の貸借管理機能等の追加により、児童生徒が自分たちで図書の貸し出し業務を行うことができるようになり、学校図書館の運営に参画することが可能となった。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 システムの共同開発、共同利用については、西いぶり広域連合による共同電算事業において既に実績があり、参加自治体が相互にメリットが得られることから、広域連携事業として妥当性の高い事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 事業実施にデメリットがなく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 システムの共同開発、共同利用によりコストメリットが得られるとともに、管理運用面での効率化とセキュリティの強化も図られ、費用対効果の大きい事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 新システムでは、旧システムには無かった蔵書の貸借管理機能が付加されており、学校図書館における蔵書の貸借管理事務の効率化、省力化が図られた。
	<input checked="" type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	事業実施にデメリットがなく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。また、管理運用面での効率化とセキュリティの強化も図られ、費用対効果の大きい事業である。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)